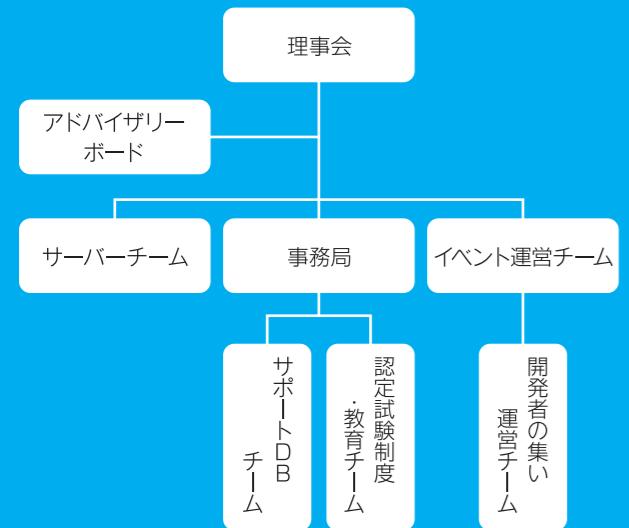


## Seasarファウンデーションの体制

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまつ黒にならんだ町の坂を下りて來たのでした。  
坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。  
ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもの



## 本年度のイベント

- 6/13 土 イベントタイトル  
6/13 土 イベントタイトル

## 寄付のお願い

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまつ黒にならんだ町の坂を下りて來たのでした。

坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来るのでした。

(ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。

ぼくはいまその電燈を通り越す。そうら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。あんなにくるっとまわって、前方へ来た。)とジョバンニが思いながら、大股に

### 寄付についてのお問い合わせ

東京都渋谷区渋谷1-8-7 第27SYビル10階  
株式会社グルージェント内  
電話:03-5469-8869 (10時~19時、土日祝日休み)  
ファックス:03-5469-8879

# Seasar Foundation

特定非営利活動法人Seasarファウンデーションのご案内



# ごあいさつ

Seasarファウンデーション 代表理事  
橋本正徳 [株式会社ヌーラボ]

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来ました。坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョ

（ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。みんなにくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思いながら、大股にその街燈の下を通り過ぎたとき、いきなりひるまのザネリが、新らしい

えりの尖ったシャツを着て電燈の向う側の暗い小路から出て来て、ひらっとジョバンニとすれちがいました。「ザネリ、烏瓜ながしに行くの。」ジョバンニがまだそう云ってしまわぬうちに、「ジョバンニ、お父さんから、らっこの上着が来るよ。」その子が投げつけるようにうしろから叫びました。ジョバンニは、ぱっと胸がつめたり、そこら中きいんと鳴るように思いました。「何だい。ザネリ。」とジョバンニは高く叫び返しましたがもうザネリは向うのひばの植った家の中へはいっていました。

「ザネリはどうしてぼくがなんにもしないのにあんなことを云うのだろう。走るときはまるで鼠のようなくせに。ぼくがなんにもしないにあんなことを云うのはザネリがばかりからだ。」

# Seasarファウンデーションは、

## Seasar2発展のための支援活動



## Seasar2の製品をメンテナンス・サポート

Seasar2は開発から4年経ち、現在一般的に使われようとしている。うんたらかんたら、Seasar2と関係の薄いところにはかり力を入れても理解が得られない。また利用者からは、Seasar2をメンテナンス・サポートし続ける事が重要である。

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来ました。

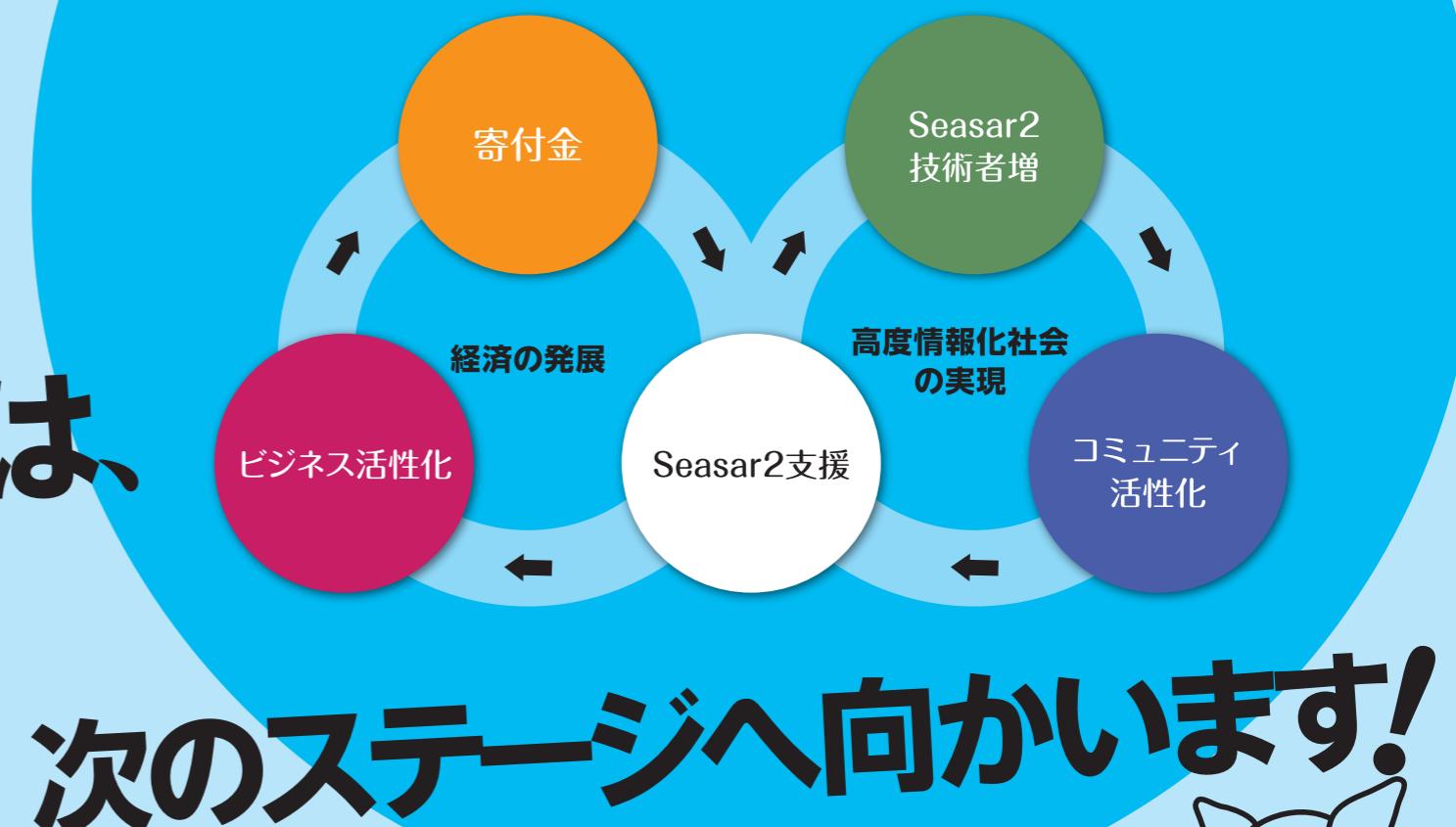
坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っています。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニ

いたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来ました。（ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。みんなにくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思いながら、大股にその街燈の下を通り過ぎたとき、いきなりひるまのザネリが、新らしいえりの尖ったシャツを着て電燈の向う側の暗い小路から出て来て、ひらっとジョバンニとすれちがいました。「ザネリ、烏瓜ながしに行くの。」

## OSSビジネス発展のための支援活動

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来ました。坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニ

は、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来ました。（ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。みんなにくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思いながら、大股にくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思



株式会社電通国際情報サービス  
□□□□□

サイオステクノロジー株式会社  
□□□□□

株式会社NTTデータ イントラマート  
□□□□□

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来ました。

坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来ました。

（ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。みんなにくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思

ジョバンニは、口笛を吹いているようなさびしい口付きで、檜のまっ黒にならんだ町の坂を下りて来ました。

坂の下に大きな一つの街燈が、青白く立派に光って立っていました。ジョバンニが、どんどん電燈の方へ下りて行きますと、いままでばけもののように、長くほんやり、うしろへ引いていたジョバンニの影ぼうしは、だんだん濃く黒くはっきりなって、足をあげたり手を振ったり、ジョバンニの横の方へまわって来ました。

（ぼくは立派な機関車だ。ここは勾配だから速いぞ。ぼくはいまその電燈を通り越す。そら、こんどはぼくの影法師はコムバスだ。みんなにくるつとまわって、前方へ来た。）とジョバンニが思

